



2022年5月10日

各位

会社名 不二製油グループ本社株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 酒井 幹夫
(コード：2607、東証プライム市場)
問合せ先 広報グループリーダー 岡本 祥治
(TEL. 06-6459-0701)

不二製油グループ中期経営計画 (2022～2024 年度) 「Reborn 2024」 について

当社グループは、2022年度から2024年度までの3カ年の新中期経営計画「Reborn 2024」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画「Reborn 2024」策定の背景

当社グループの事業を取り巻く環境はコロナ禍による影響、原料相場の高騰、地政学上のリスクの増大によって不透明感が高まっており、確実に現有資産、事業からの収益力の回復と財務体質を強固なものとするのが求められております。更にAfter コロナ、With コロナによる市場、消費者動向など今後も大きく、速く変容することが見込まれます。このような事業環境下において当社グループは、社会変容に対応し、市場や売り方を変えることで、新しい価値を生み出せる企業グループとして生まれ変わらなければならない、との決意にいたりました。

当社グループでは、「植物性素材でおいしさと健康を追求し、サステナブルな食の未来を共創します」を2030年の新ビジョンとして掲げ、当ビジョンに至るまでの9年度を3年毎のフェーズ1～3として区切り、それぞれを変革期間と捉えました。今年度からの3カ年をフェーズ1として、新しい価値を生み出す企業グループへと生まれ変わるための経営基盤を強化する期間と定め、新中期経営計画「Reborn 2024」を策定いたしました。

2. 中期経営計画「Reborn 2024」の基本方針

本中期経営計画「Reborn 2024」において、中計基本方針を「事業基盤の強化（収益力還元と新しい価値創造）」、「グローバル経営管理の強化」、「サステナビリティの深化（経営戦略と一体化したサステナビリティ戦略）」として、成長戦略を推進します。

(1) 事業基盤の強化（収益力復元と新しい価値創造）

「事業基盤の強化」といたしましては、「基礎収益力の復元」、「既存領域における高付加価値製品へのポートフォリオの入れ替え」「成長・戦略分野への経営資源の集中」、「挑戦領域への展開」を進めてまいります。

「基礎収益力の復元」は、価格政策や原価管理をローリング方式のモニタリングで管理するなど運営・管理体制の両面から事業軸を強化します。また、販売価格政策の実行力強化と生産性指標の導入によるグループの生産性を向上し、コストダウンを進めることで、基礎収益力の復元を図ります。

「既存領域における高付加価値製品へのポートフォリオの入れ替え」は、コモディティ製品から差別化された付加価値の高い製品展開を行うことで、競争優位性を築きます。

「成長・戦略分野への経営資源の集中」においては、米州の業務用チョコレート事業や植物性油脂事業を成長・戦略分野として優先的に経営資源を再配分することで、グループの収益拡大および安定成長を図ります。

「挑戦領域への展開」は、当社グループの技術と各事業製品の組み合わせを行い、新たな市場アプローチにより、消費者視点での時代に合った植物性素材を提供し、市場・顧客開拓を行うことによる新しい価値を創造し、コモディティ製品から高付加価値製品へのポートフォリオの入れ替えを図ります。

(2) グローバル経営管理の強化

「グローバル経営管理の強化」につきましては、事業収益の向上策として、事業別 ROIC 管理の導入に加え、事業軸の強化を進めることで、エリアの課題を横断的に対応できるスピード感を有した高資本効率の経営体制および、事業ポートフォリオへの転換を図ります。また、研究技術開発においては、戦略目標との一体運営体制を推進し、グローバルで求められる社会課題への対応、製品開発スピードの向上を図ります。これらの体制をより有効なものとするために、経営管理の高度化と DX を推進いたします。

(3) サステナビリティの深化（経営戦略と一体化したサステナビリティ戦略）

当社グループのサステナビリティへの取り組みを深化させることで、事業活動を通して社会課題の解決に貢献してまいります。気候変動の課題対応における CO2 排出量の削減など社会課題への取り組みとコストダウンの両立をグループ全体で行ってまいります。主原料におけるサステナブル調達を進め、経営戦略と一体化させることで、当社製品の差別化を図ります。

また、事業継続力を高める源泉は人材です。当社グループの人材が多様な視点をもって目標に向かい活躍すること、公正な機会提供と適切に評価されることが経営基盤として重要であり、当社グループの成長につながるものとして考えるため、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン (DE&I) を深め、価値創出を担う人材育成、人材獲得を進めてまいります。

3. 財務戦略について

成長によるキャッシュ・フローの創出と資本効率の向上および財務ガバナンスの強化を通じて、グローバルで強固な財務体質への改革を図ります。

経営効率向上のため、キャッシュ・フローを重視し、優先的な経営資源の配分を行い、事業別 ROIC 導入による事業評価、グループ投資基準による投資の厳選をすすめ、グループ全体の事業ポートフォリオ構成の最適化を図ります。ROIC 評価の導入で、従来より進めているバリューチェーン分析による在庫の圧縮等、CCC（キャッシュ・コンバージョン・サイクル）の改善を更に推進してまいります。

グローバル資金管理によるグループ資金の可視化・流動性の確保、資産のスリム化による総資産回転率の向上を図ります。財務レバレッジにおいても資本コストを意識し最適化を図ります。

株主還元については、配当性向 30%~40%の方針とし、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。

当社グループは新たに制定した 2030 年の新ビジョンに向け、当中期経営計画「Reborn 2024」を達成することで、企業価値向上を図り、全てのステークホルダーから信頼される企業グループとなることを目指してまいります。

4. 経営目標(2024 年度)

(1) 財務 KPI

項目	目標
連結営業利益	235 億円
ROE	8 %
ROIC	5 %
株主還元	配当性向 30%~40%

(2) 非財務 KPI

項目	目標
CO2 排出量の削減 (Scope1+2)	総量 23%削減 ^(注1)
サステナブル調達 (パーム油)	パーム油 TTP ^(注2) 比率 85%

(注1) 基準年：2016 年度（全連結子会社）

(注2) パーム油 TTP:パーム油の農園までのトレーサビリティ (Traceability to Plantation)

以上